

ひたち	熟年研究会 会報	見る・聞く	発行NO 第 2 号
生き生き		さがす	発行日 平成8年10月 5日
百年塾		夢がある	発行元 熟年研究会
			事務局 生涯学習課
			電話 0294(24)7744

8 熟年研究会
前半(4月~9月)の活動を
振り返って 8

代表世話人 掛札 優

当会の学習会も第4回を終えることが出来ました。初めての試みであり不安な点も少なくありませんでしたが、非常に好評を得た「日立再発見」などまずまずの形で滑り出す事が出来ました。これは正会員の方の努力と、何時もご参加して頂く準会員の方の励ましによるものと厚く御礼申し上げます。

振り返って見ますと当会は非常に幸運な形で進んでおります。平成8年1月6日付け茨城新聞に当会が紹介されたのを初めとして、企業部会と共催で行った講演会「楽しい熟年を迎えるために」が茨城新聞に掲載され、更に平成8年5月9日は教育TV「男と女の生活学」で当会の活動が事例として取り上げられ全国に放映されました。

然し、発足したばかりの会が、この様にマスコミに取り上げられたことは通常ありません。取り上げられたのは、超高齢化時代に対する新しい流れだったからです。

以上の様なことで現在は順調に進んでいます。が、今までの流れに甘えることなく、会員の力を合わせて名実共に時代の期待に応えられる様にして行きたいと思えます。

(第1~3回学習会を
振り返って)

♥ 第1回学習会 畑山 和子
「定年後を楽しく過ごすために」

先日亡くなった沢村貞子さんの、亡きご主人との愛情の様子をテレビや本で知り、我が夫の一言、「ああいう夫婦になれたら最高だなあ」。ほど遠い私たちですが、努力しましょうね、お互いに……。

学習会でのアドバイス「身近な人と時間を共有して、今を大切に、心豊かに」生きてゆきましょう。

♥ 第1回学習会 末松 倫枝
「定年後を楽しく過ごすために」

定年後って、何ですか？共に歩む二人三脚の道に、夫の歩調が少し合わなくなって来る姿ととらえて良いのか？はたまた、妻が歩調を狂わすのか？いずれにしても、夫も妻も大きなハードルも気持ち次第で、高くも低くもなりますが如何ですか？定年後を余生と言うイメージでとらえず、第2第3の人生を自分から向うと考えれば、自ずと変わって来ると思えます。

皆で、素敵で、素敵な熟年族になって楽しみましょ
う。

◆ 第1回学習会 国安 滋
「交流会」(H.8.6.8)

定刻、「第2部の交流会を始めたいと思います。パーティの前に、記念写真を撮りますので、此の場所に集合して下さい」。

速(?)司会者の発声により、交流会のプロローグとなりました。あれから3ヶ月以上の日時を私流に楽しく毎月の学習会に参加しております。

交流会では、吾らが仲間「ハーモニーフレンズ」の伴奏に合わせて、顔と名前も判らないまま、懐かしい抒情あふれる愛唱歌を皆で歌った喜びが、折りにふれて思いだされます。

エビローグの最後、会場の整理清掃を皆で行い、楽しく散会出来ました事を、感謝し再会を期待します。

◆ 第1回学習会 藤島 範雄
「交流会」

6月の第1回学習会を皮切りに、早いもので第4回の学習会も好評の内に終えることが出来ました。これも会員各位の努力のたまもりと共に喜びたく思えます。

第1回学習会後の交流会は、お互いのコミュニケーションを深める目的はもちろんのこと、特にハーモニーフレンズによる全員合唱は、会員相互の一体感の醸成の面からも大いに意義の有ったものと考えます。

これからも、学習会とサンドイッチにした交流会の実施を考えて行きたいと思えます。

◆ 第2回学習会 鈴木重四郎
「日立再発見」

第2のふるさとを知らずに漫然と時に流されてはと思い、日立再発見を取り上げたのは2月の寒いある日曜日であったかと思う。

図書館、博物館、市役所等に通い焦点を絞ったのが、御岩神社と日鉦記念館であった。初めてのことであったが市役所の方々のアドバイスを頂き、7月16日無事行なうことが出来好評を得た。また、第2のふるさと日立の良さに目覚めさせられた気がした。

これを機に、大勢の方々が隠れた良さを足を運んで再発見したいものだと思う。

最後になりましたが、御岩神社の大塚宮司様に大変お世話になり、心から厚く御礼を申し上げます。

